

# 資料 1

令和5年10月2日

坂出市教育委員会  
教育長 山田 知志 殿

坂出市中学校長会

## 新標準服（ブレザー型）の導入についての要望

近年、全国の公立中学校において、健康面や機能面、また、多様性に配慮した（ジェンダーレスに対応した）ブレザー型学生服の導入が進んでいます。また、県内でも、既に導入していたり、導入の検討が始まったりしている公立中学校があります。

坂出市内公立中学校においても、坂出市学校再編整備も見据えながら、次のとおり新標準服（ブレザー型）の導入についてご検討をお願いします。

### 1 市内全公立中学校で同時期に統一した導入

- ・ 学生服は本来各学校での採用となりますが、ブレザー型学生服の導入という大きな変更を伴う場合、各校単独での実施は時間と労力の負担が大きくなります。
- ・ ブレザー型学生服は、現在の学生服・セーラー服に比べて高額になるため、市内中学校全体で一括導入し単価を下げることで、各校単独での導入により安価に提供できます。

### 2 市内公立中学校共通の男女共用ブレザー・スラックス標準仕様の作製

- ・ この標準仕様に基づいて、各製造業者が標準服を作製し、系列の小売店を通じて販売してもらいます。
- ・ ボタン、ネクタイ、エンブレム等において、各校の独自性を出すことができます。

### 3 導入年度1年半前までの関係中学校長への通知

- ・ 各学校のPTAや校区内学生服販売店への説明・周知、準備のため、検討委員会を設立し進めていくことが必要です。最短でも1年半前には各中学校長への通知をお願いします。